

<R7年度 栃窪小学校 国際科 評価>

○指導の重点

英語活動を通してコミュニケーション能力を高めたり、自国や他国の良さに気付いたりする中で、心豊かでたくましい児童を育成する。

○学校評価より

	評価項目	(評価方法)・評価基準	評価
成果	(1) いろいろな人(友達や外国の人)と英語を使ってコミュニケーションを図ることが好きになる。 (2) 国際交流会等、外国の人々と関わる活動を通して、自国や他国の文化・伝統などを調べることが好きになる。	(児童・保護者アンケートより) A: 肯定的評価が80%以上 B: 肯定的評価が65%以上	B
教育活動	(1) ゲームやインタビューなど、ねらいに応じたコミュニケーション活動(アクティビティー)を取り入れることができたか。 (2) 歴史や文化など、各国の特徴的な内容を取り上げ、外国や日本の違い、よさを感じさせることができた。	(担任) A: 実施した。 B: 実施できなかった。	A
運営活動	(1) 各担任がALTとの打ち合わせの時間を確実に確保し、活動内容を検討する。 (2) 外国の人と交流する機会を設ける。	(担任) A: 直接打ち合わせができた、交流の機会を設けることができた B: 直接打ち合わせ、交流の機会を設けることができなかった。	A

<考察>

成果(1)について、アンケートでは児童の肯定的な評価は低く、保護者の評価は高い結果となった。特に低学年において、肯定的な評価が低かった。一方で、1学期と2学期を比較すると肯定的な回答の割合が大幅に増加した。児童が楽しんで英語でのコミュニケーションを図ることができるために、学年に合わせた活動を進めていく必要がある。

成果(2)について、ほとんどの児童から国際交流に対して前向きな姿勢が見られた。国際交流会や、外国からの体験入学児童との関わりを通して、様々な国の文化や伝統へのよさや面白さを感じる児童が多かった。今後も外国の人との関わり、他国の文化や伝統に触れる機会の充実を進めていく。